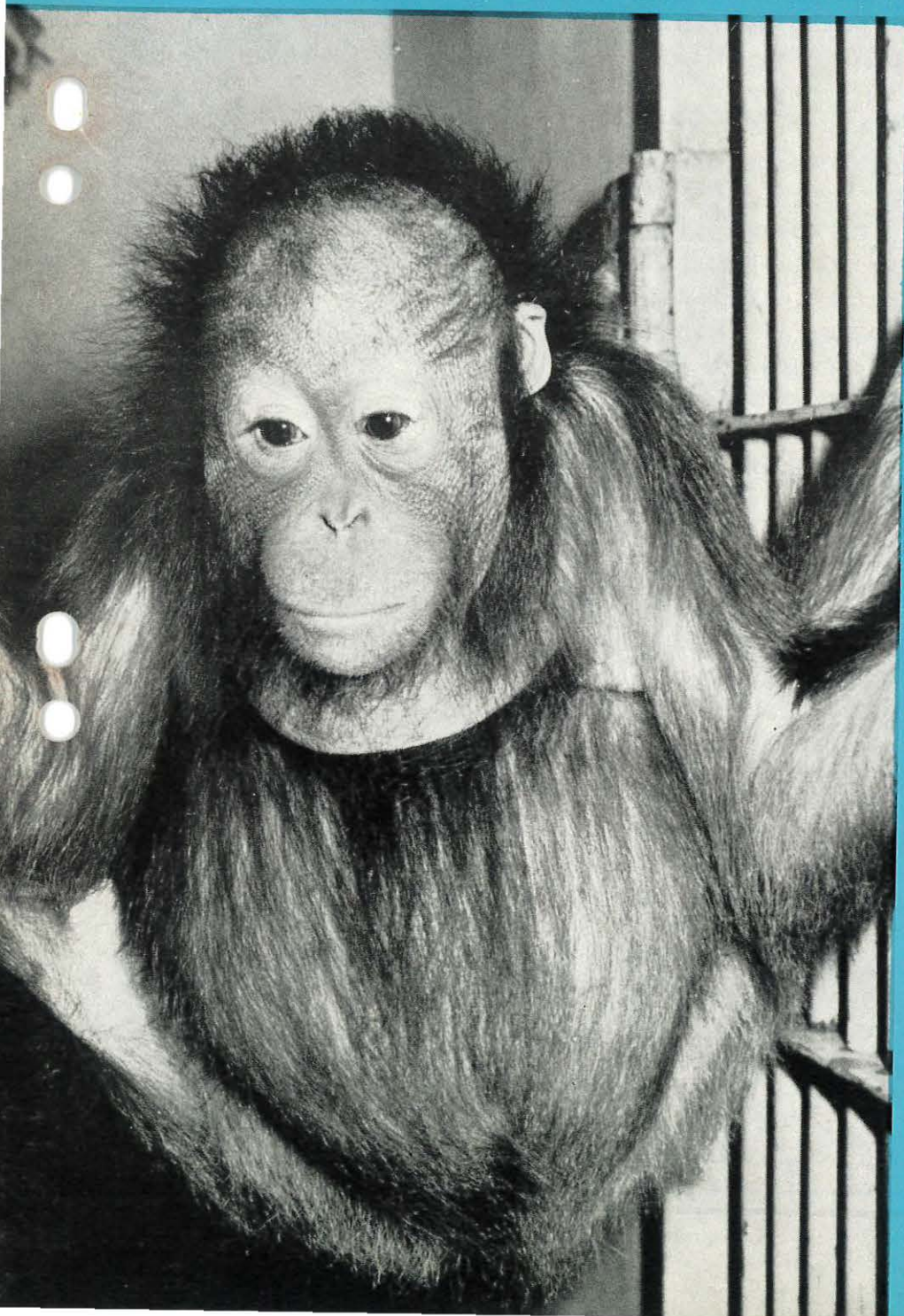


なきごえ



1969

45

大 阪 市
天王寺動物園協会

動物の紹介 [第30回]

アライグマ

北園の最北端の一隅に昨年末に新設された、モダンな小獣舎の一角に、いつもいそがしそうに歩き廻っていて餌をもらおうとせせせと洗って喰べるいかにも清潔屋の動物がいます。その名はその動作の通りアライグマと呼ばれています。

一寸と見たところタヌキに似ているのですが尾はタヌキよりもずっと短かく灰色の地に5~7本の黒輪があり耳は小さく、体の毛も長く綿毛がギッシリ生えています。これはアライグマ亜科の仲間のうちでも最も北のカナダのしかも物を洗うのに都合のよい水辺を好むために、自然と出来た防寒具と云うことになるのでしょう。

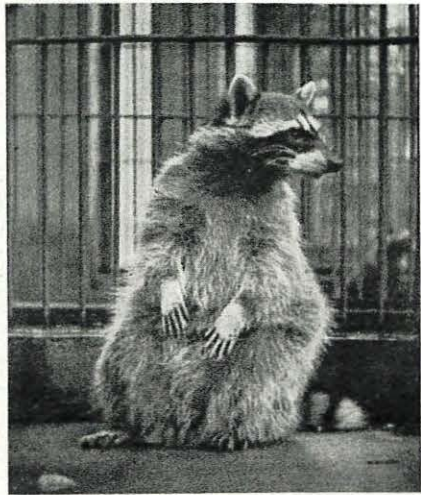
アライグマ科は、アライグマ亜科とパンダ亜科の2つに大別せられ前科が6尾にパンダ亜科は2尾に分類されています。

タヌキに似ていますが上記のように犬科でないのを見分け方を御紹介しますと、犬科のキツネやタヌキは爪先だけで敏しょうに歩き廻りますが、アライグマはよちよちと体を左右に振るような一風変わった歩き方をします。これは臍の部分も地上に着けて歩いているからです。この歩行はクマ科の動物と同じです。仲間のなかには半分しか着けない半蹠行性のももありますが、このことからタヌキの仲間ではないことがお分り願えると思います。

アライグマ亜科の仲間動物園でよく見られる代表的なものにはハナグマとキンカジュがいます。両者とも比較的よく人に馴れますが、ハナグマの鼻は兎を穴から追出す名人のダックフント犬のようにつき出しているいかにもヤンチャの気かん坊子と云う感じがしますがキンカジュはこれと反対で顔は円く動作も活発でなくこの仲間では尾を木に巻き付けると云う変り種で毛も軟らかくピロードのように密生しています。

パンダ亜科の2尾はとても外見が可愛い動物で、レッサパンダは中共四川省からビルマ北部に、世界の珍獣ジャイアントパンダは中共四川省にのみ生そくしていて最もクマに近い動物です。

扱て仲間の照介はこれ位にして、アライグマが何故物を洗って喰べるのかと云うことについて、テキサス大学のオブマンドPブレランドさんの著書から引用してこの稿を終りたいと思います。



アライグマは近くに水があるとたいい食物を洗って喰べます。

水が近くになかったり離れたところに行かねばならないときは、水のことを気にしながら不平そうにして、その食物を食べます。然し中には全々水洗をしない横着者もいます。アライグマの水洗の意味に付いては分かりませんが、

アライグマは食物より水がにごって汚いときでも洗うのですから清潔好と云う意味は当てはまらないようです。又1口で食べられるような肉片でもゴソゴソと熱心に洗うのですから、おそらく食物がタププリ水にぬれているのが好きだからか、又は洗うこと自体に喜びを感じているのではなからうかと云うことです。

この無意識の清潔屋アライグマ君の動作をこのつき動物園に来られたときによく見てやって下さい。

(松岡 恵爾)

表紙の写真説明

ニオランウータン

ボルネオとスマトラの熱帯雨林にすんでいます。毛が赤くて長いのであかしょうじょうと云われました。まだ、3~4才の子供で、大きくなればほたぶが出て立派になります。

動物園の見方見せ方 (II)

戦時中ゾウやキリンが姿を消した時に動物園がいかにさみしかったか。幼児が絵本で名前だけは知っていたが実物を初めて見た時の驚きと感動はすばらしく何物にもかえ難い貴重な経験となる。子供の好奇心や興味を知識欲に導くのが教師や親たちの役目である。ゾウの鼻は何故長いのか。地球上に大昔からゾウがいたものでなく、だんだん現在見るようなゾウに進化したものでゾウの先祖メリテリウムの鼻はバクのようなものであった。生れたばかりの子ゾウの鼻は44cmで尾は51cm(宝塚)生れたときは尾の方が長い、

成長するにしたがって逆になる。鼻が長くなるにつれ額は短くなっていった。耳が大きいのは体温調節上放熱作用をするものでアフリカゾウの耳はインドゾウの3倍も大きい。裸に触れてみると体毛で全身おおわれているのが分る。子ゾウには少し長いウブ毛が目よく立つ。牙もインドゾウでは雄のみに見られるが、アフリカゾウでは雌雄ともに大きくなり又前後趾の爪もインドゾウでは5:4でアフリカゾウでは4:3で進化しつつあることが解る。日本にもマンモスや旧ゾウの化石が発見されているが第四紀の氷河時代には200種近いゾウが生存していた。それが現在2種だけになり人間が保護



してやらねば絶滅する。栄枯盛衰の歴史は恐竜だけではない。

△キリンの頸がいかに長くても頸の骨は7個で頸の短いゾウやカバ・クジラそうして私たち人間も同数の7個からできている。これは基本的に原始哺乳類の先祖が7個のものであった証拠である。キリンの先祖の化石に近いオカピが現存、生きている化石と呼ばれる。ジャングルから草原生活をするようになったキリンはいよいよ肢と頸が長くなり敵の発見は展望台上の目で逃走は快速力で食物はアカシアの葉を長い舌でまきとる。蹄はウマが1本キリンやラクダは2本でサイは3本、カバは4本でインドゾウの前肢には5本の爪が見られる。趾の進化が説明できる。

寝屋川市池田

吉田平七郎

筆者……おもちゃの動物園長

地下鉄動物園前で下車すると南園の入口から入ることになる。

△ホッキョクグマ・ヒグマ・ツキノワグマ・マレーグマがならんでいる。ベルグマンの法則といって常温動物(鳥類、哺乳類)では同類のものでは寒地にあるものほど一般に大形になる。南半球ではペンギン、北半球ではクマが好例になっている。ホッキョクグマは体長2.7mあり、ヒグマは2mになり、ツキノワは1.4m、マレーグマは1.2m大で実物は年令差や見る距離によって違ってく

る。大きさ以外に毛の長短や色彩の濃淡も体温調節に関係している。

△池の一角に恐竜の実物大模型がある。子供たちがいつまでも漫画の怪獣やお化けに興味をもっているのは困る。中生代に恐竜時代のあったことを科学的に指導してやるべきでここには肉食性のケラトザウルス(単角竜)5mが草食性で武装いかめしいステゴザウルス(剣竜)10mには歯がたらず水生のプロントザウルス(雷竜)20mにかみついているところであるが生物の世界には今も昔も生存競争があり適者だけが生存することになる。恐竜類は地球の変遷につれて適応できずに絶滅した。23トンもある雷竜の脳が現代人の17分の1にしか値しなかったという。

△小山の上には家畜のヒツジが平和な姿を見せる。旧サル島にはヤギが入っているので両者の区別ぐらいははっきり教えてほしい。ともに紙をやれば食べるのはセルロースを消化する原生動物と共生しているから動物園では禁止している。△隣りにはシカがおり冬毛は無地で白い斑点がなく夏毛に出る。おしりの白色部は認識色で仲間同志の自印になる。シカの角が成長にともない1本から4尖に生え変わるのは地質時代の化石でそれが次第に進化したことが証明されている。もし比較する年令差のものがいたらヘッケルの個体発生は系統発生をくり返すという法則の説明をしてやってもよい。

△地上最大の動物と最高の動物がならんでいる。

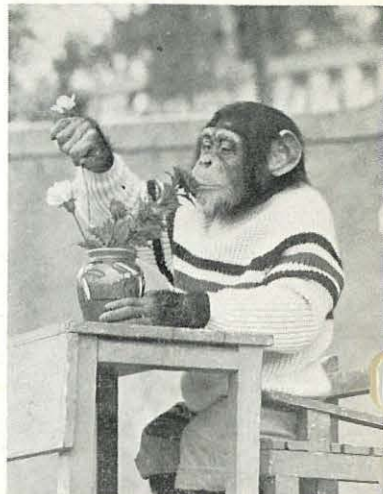
北
ダン
き廻
いか
作の
一
はタ
の黒
ッシ
間の
に都
寒具
アの
の2
尾に
タ
ので
ネや
が、
な一
地上
マ科
着け
から
と思
ア
代表
す。
マの
のよ
ん坊
反対
を木
ロー
パ
で、
レ
世界
のみ



↑ さあ、綱わたりの演技をはじめるとしよう。



↑ どうだこのバランスのよさ



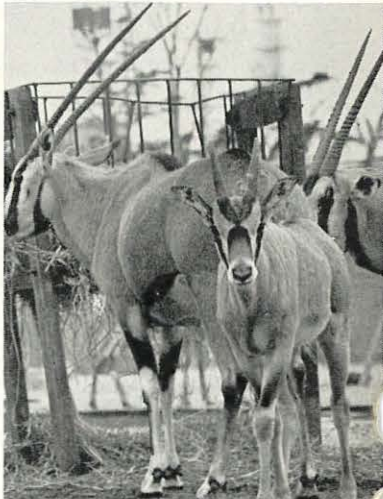
↑ 生け花の演技
この花おいしいかな？



↑ オットあぶない!!



↑ たる乗り
この間から訓練をはじめました。



↑ オリックス
角の成長はひじょうに早く顔や体毛も親の毛になってきました。



← ヤレヤレ
ぶらさがるよう子ちゃん
綱わたりも楽じゃないよ。

3月動物園日記

- 1 フンボルトペンギンが産卵して抱卵しています。オオツルのひなやインドオオリスが寒波のため急性肺炎を起して死にました。
- 4 このところ寒波が続いていましたが、この日は大雪が降り市内も6cm積りました。

- 5 カンガルー2頭が、この寒波で倒れてしまいました。1頭は下顎骨の放線菌病で加療中で体力が弱っていたものです。
- 6 センザンコウが死にました。台北動物園より親善使節として入園してから8カ月経過しました。
- 11 キューバフラミンゴ2羽に趾瘤ができ加療していますが、この病気はなかなか頑固です。

動物園グラフ

- ☆ 芸域を広めるチンパンジーのよう子ちゃん。
- ☆ こんなに大きくなりました。
- ☆ 芸達者になったゴリラたち。

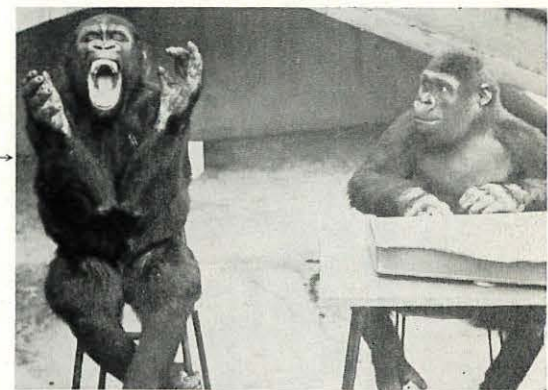


↑ イスも自分でかたづけます。



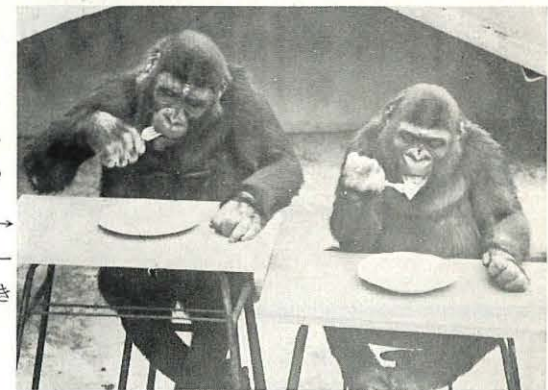
↑ トラの親子
右の2頭が子トラ

ピアノやハーモニカも習っています。



← キリン左が1昨年の子中が今年1月に流産はしたが、今は元気です。

→ テーブルマナーも板についてきました。

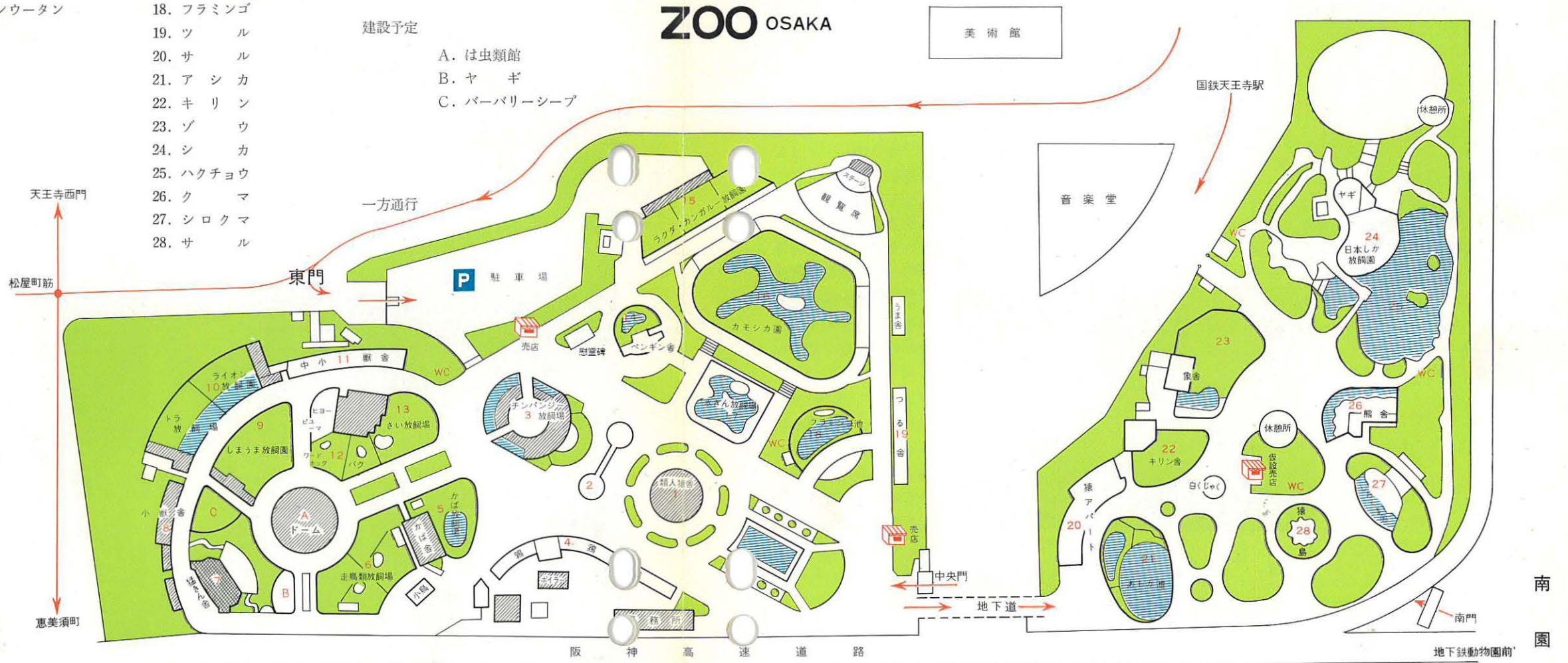


- 15 ヒヤシンスマコー1羽死亡しました。
- 18 南園の日本庭園の池で抱卵中のハクチョウの巣から卵を5コも盗まれてしまいました。子供の悪質ないざらで、ハクチョウ夫婦もガッカリしています。
- 21 家畜、動物総合慰霊祭が慰霊碑前で行なわれ、チンパンジーのよう子ちゃん、カンガルーのヌプリちゃんが動物代表として焼香しました。

- 22 シュバシコウが産卵をはじめました。
- 23 抱卵中のペンギンはどうしたのか卵を池の中におとして、われてしまいました。園内で写真撮影会が行なわれました。又、消防音楽隊やバトンガールの演奏がありました。
- 25 テレビの撮影がありました。29サイ舎、キリン舎の夜間給温を中止しました。

動物園の案内図

- | | |
|-------------------|-----------|
| 1. ゴリラ | 16. カモシカ |
| 2. テナガザル | 17. コウノトリ |
| 3. チンパンジー・オランウータン | 18. フラミンゴ |
| 4. クジャク・キジ | 19. ツル |
| 5. カバ | 20. サル |
| 6. ダチョウ | 21. アシカ |
| 7. コンドル | 22. キリン |
| 8. キツネ・タヌキ | 23. ゾウ |
| 9. シマウマ | 24. シカ |
| 10. ライオン・トラ | 25. ハクチョウ |
| 11. オオカミ | 26. クマ |
| 12. ヒョウ・バク | 27. シロクマ |
| 13. サイ | 28. サル |
| 14. ペンギン | |
| 15. ラクダ・カンガルー | |



《入園御案内》

☆ 開園時間及休園

- 3月～10月 午前9時～午後5時
 11月～2月 午前9時～午後4時30分
 ◇ 閉園30分前で入園券の発売を終わります。
 ◇ 12月30・31日のほかは年中無休です。

☆ 入園料

- | | | |
|----|------------|-----|
| 普通 | 大人(13才以上) | 60円 |
| | 小人(5才～12才) | 20円 |
| 団体 | 30人以上 大人 | 54円 |
| | 小人 | 18円 |
| | 50人以上 大人 | 48円 |
| | 小人 | 16円 |

- 100人以上 大人 42円 小人 14円
 ◇ 中学生は小人料金扱い
 ◇ 5才未満は無料(但し保護者付添のこと)

☆ 駐車場使用料

- | | | | |
|-----|----|----|------|
| バス | 1台 | 1回 | 200円 |
| 乗用車 | 1台 | 1回 | 100円 |
- (2時間までごとに)

☆ 交通

- 市バス 動物園前下車
 地下鉄 動物園前下車徒歩2分
 国鉄 天王寺駅下車公園内徒歩10分
 近鉄 阿倍野橋下車
 南海 恵美須町駅下車徒歩5分

動物園協会よりのお知らせ

御入園の皆様にご覧いただくために、手荷物預りとうば車の貸し出しをしています。ぜひ御利用下さい。

- | | | |
|-------|----|--------------|
| 手荷物預り | 1コ | 20円 |
| うば車 | 1台 | 50円(保証料200円) |

また御入園の記念におみやげに天王寺動物園のえほん(2種) 1冊120円、カラーえはがき(2種)1部100円を、どうぞお買い求め下さい。

ペットを訪ねて

飛ぶ宝石

ハチドリを飼って、

泉大津市松ノ浜町

土井 門吉 さん

ペットブームを反映して、いろいろな動物たちが世界中からやって来る。ハチドリもその中の珍鳥の一つ。

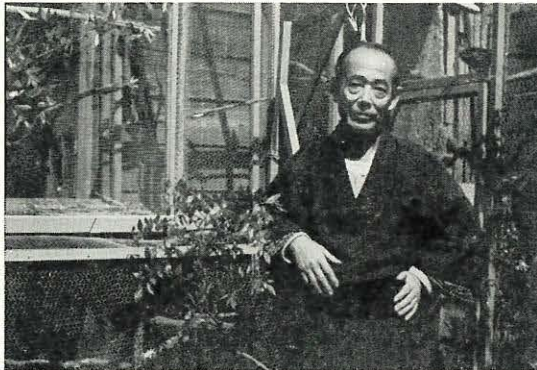
「飛ぶ宝石」、世界最小の鳥、として有名な南米産のこの鳥も、輸送やエサに難点があって折角、入手してもすぐ落鳥してしまって今迄は仲々、お目にかかれぬ珍鳥の一つであった。私はこの鳥を見るのが永い間の念願であったが、

偶然、府下で、それもたった一羽、飼われている事を知り、矢も楯もたまず、土井さんのお宅に駆けつけた。

離れの16㎡程の室は、すべて小鳥たちのために開放されている。自然の草木を植え、小川まで流れるその室には、大小様々な、色鮮やかな熱帯の小鳥たちが飛び交っている。その室の隅に1㎡足らずのビニールで覆った金網籠が目についた。

「ここにいますよ」と土井さんにビニールをはづしてもらったその瞬間、黒い小さな、小さな鳥が私の目に飛び込んで来た。じっと見つめると突然、エメラルドの様な輝きを増し、あたかも羽のあるプリズムの様に一段と光を放った。その又、細く尖った淡紅色のくちばしの可れんなこと。まことに美しい花の蜜を吸う鳥にふさわしい優雅さであった。

「昨年の9月頃、偶然、動物商から2羽、手に入れ大事に大事に飼ってきました。途中で1羽がエサの蜜が体に付いて落鳥。残ったこの1羽だけが無事、冬を越すことが出来ました。寒さが心配でしたが、電熱器（1キロワット）やヒヨコ電球でやっと越すことが出来ました。寒いと全然、活



動せず。羽をふくらませて止り木で体を休めているだけで室温は15°から20°位、エサは、ハチミツとコンデンスミルクを等量に混ぜ、水で10倍位に薄めて彼専用の器に入れて与えています。変っているのは、飛び方で、後の方でも、或はひばりの様にゆるやかに上ったり下ったり出来ることで勿論、羽はすごい速度で動かし乍ら飛びます。ですから、広い場所より少し位、狭くても、ひばり籠の様に上に高く飛べる様な設備が必要ですね」

じっと眺めている間も、決して恐れません。絶えずブンブンと金属性の羽音を立て乍ら、盛んにミツを吸っています。僅か3〜4センチ位しかないこの小さな鳥の1秒間に75回という速度で廻る

プロペラの様に絶えず羽を動かすことの出来るバイタリティーが、一体、どこにひそんでいるのか、絶対といって良い程、下に降りず、休む時も必ず止り木で休む、それも高い位置を好む、エサを吸う時も飛び乍ら吸う。それと云うのも、体

に似合わず大きな翼筋を持ち、世界中で、体の割りに一番大きな心臓を持つ鳥だからこそ、この様な芸当が出来るのかも知れない。

ハチドリの他に太陽鳥や、カメレオンも同居している。他の鳥の様に攻撃することを全く知らないこの鳥は、ただ人の目を楽しませてくれるために生きているのかも知れない。

「600種類以上もあると云われているこの生きた宝石を一つ一つ蒐めていきたい」と語る土井さんの瞳は、宝石の様に輝いていました。

(中川 道 朗)

「へビの赤ちゃん誕生」は今月休ませて戴きます。

追って掲載致しますから、ご期待下さい。

テナガザル

〈テナガザル科〉

約200種類に分けられる霊長類(サル)の中で最も高等なものをヒトと呼び、その次に高等なものの類人猿とよぶ。この類人猿はオランウータン科3種、(ゴリラ、チンパンジー、オランウータン)テナガザル科に分けられる。チンパンジーなどをみていると人間に近いなあという感じはだれでもうけるが、直立歩行するなどの他それほど他の猿とちがった感じはうけない、もっとも学者によってはテナガザルを類人猿の仲間に入れたい人もいるが、このテナガザルは種類によってちがいはあるが、北はインドアッサム地方中共雲南地方からタイ、ビルマ、マレーなど主に東南アジアの熱帯降雨林の中層を利用して生息している。又、時には氷点下になるような高地にも生息しているから耐寒性は非常に強い。なお現在の分布はこのようなところであるがアフリカの中新世前期の地層からテナガザルの祖先に近い化石が発見されている。(2〜3千年前に大型類人猿と分化したらしい。なお人間もこの頃人類への進化が始まったといわれている)

テナガザルは完全な樹上生活をしていて水をのみにくるとき以外はほとんど地上におりてくることがはない。又、おもしろいことに水も絶対に直接口につけることはなく手をつけてそのしずくをのむ。木の枝などにつかまりながら川などに手をつけているのであろう。さらに非常に水をきらいどんな浅い水たまりの中にも入ることはない。これは同じ樹上生活のオランウータンにもいえる。又飼育観察してみて、これら2種類はゴリラ、チンパンジーに比べて水などもあまりのまずミルクなども好んでのむことは少ない。(なおオランウータンもテナガザルも沢山の群れで生活はしていない単独ないし夫婦などの4頭位までの小家族単位で生活している。これは樹上生活がいきつく一般的な生態だといわれている。)

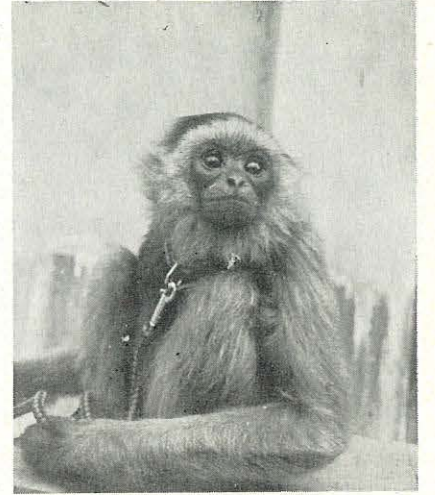
飼育するにはこのようなことから多数を同じゲ

ージにいれることは好ましくない、と考えられる。弱い者がいじめられて、時には死亡することもある。(直接攻撃で殺されることもあるが、食物を十分にたべられず弱い体になったり冬に部屋の中に入れてもらえなかったりする)子供を産んでも大きくなると、親に追いだされ別の所で生活をするようになる。そこで自主独立精神が非常に強く、小さい時はなれていてもテリトリーを守るための危険になる。類人猿の中でははっきりしたテリトリーをもつのはテナガザルだけでこの点は社会的な進化がおくれている。そういう人間は国やなわ張りなどといって戦っているのだから対して差はない。

彼らの戦いはあの独特の大きな声で声合戦で行なわれ、ほとんどそれでかたがつく、時にははげしくかみあうこともある。人間少しは見習って声合戦をすべきではないだろうか。

手長猿の攻撃は非常に早く手や体をふるわせてパッととんでかみついたらはなれ、又とびかかる、動物園でもこのように気に入らない人がそばを通ると、攻撃しているのがよくみられる。私も飼育していて中に掃除のために入り時々パッと毛をひっぱたり目の上をひっかかれたりしたこともある。

又あの大声は結婚相手を選ぶのによび合うためにもある。食物は野生では果実が80%その他木の葉動物性のもは小鳥、卵、昆虫などをたべる。テリトリー内の気に入った果実をさがして朝おきるととび回るらしい。→ (次頁へつづく)



→動物園では果実、パン、野菜等をたべやすいように切って与えている。食物のそばで落ち着いてたべることなく、手にいくつかもつと、別のところでたべ、なくなると又おりて来てもつてゆく、おもしろいことに、りんご、みかんなどをあたえると、りんごは絶対に皮をのこすし、みかんは袋をのこす、夏には檻の中に飛んで来たセミを素早くとってたべることを見かけることがある。成熟するには雄で6才位から雌で5~6才で成熟し、発情はきまっていない、妊娠期間は200日~212日で一産一子である当園では過去いくたびか繁殖し、最近では43年10月に一頭生まれたが、親が育てず人工哺育したが成功しなかった。幸い両親とも元気であるので今年も繁殖してくれること

- を願っている。種類は大体このように別れる。
1. シロテテナガザル (最も動物園でよくみかける)
 2. ボウシ " (シロテテナガの亜種にする学者もいる)
 3. ワウワウ " (ワウワウとなく声からきいている)
 4. アジル "
 5. シロマユ " (インドに分布するただ1つのテナガザルフーロックテナガザルともいう)
 6. コンカラー "
 7. フクロテナガザル (シャーマン最も大きく大きなどふくろをもっている、声も最も大きい。ピグミーシャーマン、クロテナガザルなどもいるが分類はむづかしい)
- (大野 尊 信)

動物園ニュース

◎ ステージでチンパンジー大活躍



このごろは1年中で一番入園者の多いときです。ことに日曜祭日は天気良ければ4~5万人のお客さんでにぎわいます。ステージでは毎日曜日、午前11時と午後2時の2回、チンパンジーの演技をしています。今春から、縄わたりや、たるのりの演技もおぼえて見ていただいています。写真は、熱心にみるお客さんたち。

◎ 動物園のさくら

天王寺動物園にも南園を中心に約300本のさくらの木が植ってありますが、今年も4月の12~13日にかけて満開で、桜の下で動物を見たり、お弁当を開く家族づれでにぎわいました。しかし、桜の木も年々枯れるのが、目立ってきました。これはやはり排気ガスや煤煙のせいでしょう。動物たちもこの状態では、かなりの影響をこうむっていると思われます。



◎ シュバシコウ3番が営巣



なくなっているとのこと。

今年は例年繁殖しているシュバシコウの親と子供2番が営巣産卵しています。大フライングケージには12羽のシュバシコウがいて大へんにぎやかになっています。巣台が5つありますが、このうち3つに巣をつくっています。シュバシコウは原産地のヨーロッパでも年々少なくなり、あまり繁殖し

◎ カンガルーの赤ちゃん誕生



4~5カ月前から母さんカンガルーのおなかの袋がふくらんで、だんだん大きくなり、中で動くのがわかりましたが、このほどやっとかわいい赤ちゃんが顔をみせました。まだ、当分の間袋の中で母親のお乳をのんで大きくなります。



◎ さる島とあしか池の改造工事

いずれも昭和の初めごろからの動物舎で、凝岩がくずれたり水もれがひどくなっていました。又、さる島は、昨年さるの脱走騒ぎもあり改造することになりました。

◎ お 願 い

心ない入園者の与えるえさで毎年多くの動物が病気になったり、死んだりします。ことに、菓子袋ごと与えるのは最も危険で、袋は消化せずにお腹にたまって消化不良をおこします。又、石を投げつけたり、棒でつつくなどのいたずらは絶対やめて下さい。一人一人の注意で、かわいい動物が一日でも長生きして元気に子供たちのお相手をしたり、情操教育のお役に立たせてやって下さい。

◎ お わ び

今回は4月・5月の合併号としましたので、発行が、やや遅れましたことをおわびします。

な き ご え 4・5 月 号 も く じ

動物の紹介(アライグマ).....	2
動物園の見方見せ方(II).....	3
動物園 グ ラ フ.....	4. 5
動物園の案内図.....	6. 7
ペットを訪ねて(ハチドリを飼って).....	8
テ ナ ガ ザ ル.....	9. 10
動物園 ニュース.....	10. 11

◎ バトン・トワラーの行進

3月23日の日曜日は好天に恵まれ、朝から入園者がおしかけましたがバトン・トワラーのお嬢さんの見事な手さばきと消防局音楽隊の吹奏行進にしばし足をとめて盛んな拍手を送っていました。



◎ ぞうの目方を計る

ぞうの目方を計る催しものが5月5日の子供の日に行なわれました。今年20回目です。ぞうは毎年大きくなって、昨年頃より計り台に乗るのを嫌がるようになってきましたし危険でもありますので、今年で最後になるかもわかりません。

なきごえ 昭和44年5月1日発行（毎月1回15日発行）第5巻第4号（通巻46号）

編集人 / 加藤寿雄 発行所 / 社団法人大阪市天王寺動物園協会 大阪市天王寺区玉水町2

電話 大阪 771-0201

印刷所 / 株式会社 松村善進堂

